

令和元年 11 月開催 第 6 回福部地域振興会議視察 議事概要

日 時 令和元年 11 月 22 日 (金) 13:00~17:00
視 察 先 道の駅西いなば気楽里、道の駅きなんせ岩美
出席委員 南部敏、上山弘子、坪内悟、岸本正枝、西尾祥幸、谷岡陽一、加藤美幸 (順不同敬称略)
事務局 平戸支所長、大島副支所長兼地域振興課長、河本地域振興課課長補佐
内 容

(1) 道の駅西いなば気楽里

応対者：長尾社長、江原総務部長、小椋地域振興部長

平成 21 年に鳥取自動車道開通記念として「全国街道交流会議第 7 回全国大会」が鳥取で開催された。その大会の中で、道路開通により広域の交通圏が生まれる一方で、旧道周辺の町は通過地域となり、衰退していくことが危惧された。山陰道西道路建設にともない道の駅を開設し地域の活性化を図るという発案がきっかけである。その後、鳥取市西商工会が主となり、西いなば振興協議会を設立し、道の駅の設置、運営会社の検討・立上げを行った。平成 29 年には、「鳥取西いなばまちづくり株式会社」を設立し、業務を引き継いだ。現在は、今年 6 月 30 日にオープンした道の駅西いなば気楽里の指定管理会社として施設の管理、運営を行っている。

場所は、多くの方の利用が望める鳥取西道路の浜村鹿野インターチェンジ至近とした。

施設の機能としては、物販、レストラン、農業・漁業加工室、コンビニ、足湯がある。

地域の農漁産品を使用した特産品が少ないので、地元の女性グループに商品開発を依頼している。農産品の仕入れはこれまで中央青果、10 月から生産者から直接購入できる方法に変更した。

苦労した点としては、予想以上に来場者が多く、開業当初のスタッフ数ではお客様に十分な対応が出来なかった。また、コンビニのスタッフ募集に応募が少なく、人手不足の状態が続いている。ようやく落ち着いてきたので、問題点を洗い出し、改善していきたい。

(2) 道の駅きなんせ岩美

応対者：岩美町 飯野産業建設課長、山本農林係長、(株)いわみ道の駅 吉田駅長

平成 22 年 2 月に、町内の 5 団体 (商工会、観光協会、県漁協網代港支所、田後漁協、JA) から、「道の駅設立に関する趣意書」が提出され、その後、設立準備委員会で検討を重ねた。場所は、地域交流拠点として、山陰近畿自動車道と国道 9 号線に隣接しており、また、岩美町の中心位置であり、山間部、沿岸部どちらからもアクセスが容易な場所を選定した。建物は旧トスクを利活用し、改修を行った。運営については、公共性、収益性を兼ね備える観点から、町と公共的団体 (5 団体) で構成する第三セクターが管理運営を行うこととした。

施設の機能は、物販、レストラン、交流室、コンビニである。災害時の避難所に設定しており、マンホールを利用した災害時のトイレや非常用蓄電池がある。人材の確保 (駅長、スタッフ)、利用者が家庭ゴミを捨てて帰ることに苦慮している。

イベントは駅長が企画し、月 2 回ペースで開催している。11 月に行った北海道物産展は盛況であった。

駐車場の台数設定は、旧日本道路公団 休憩施設設計要領を参考に決定したが、ピーク時は足りない状況である。



西いなば気楽里での意見交換



西いなば気楽里の物販施設



きなんせ岩美での意見交換



きなんせ岩美の物販施設